

美しい山・川・海
人が躍動する 交流と共生のまち

ふるさと

香美

今月号の主な内容

平成17年度町長施政方針	……P. 2～ 3
平成17年度予算・香美町町章決定	……P. 4～ 7
最重点課題事業・こんにちは町長です	……P. 8～ 9
行政トピックス	……P.10～ 11
Town News	……P.12～ 13
けいじばん	……P.14～ 15
香美名所巡り	……P.16

総数1,277点の中から

香美町の町章決まる！

全国から1,277点(994人)のご応募をいただき、選定を行っていた香美町の町章は、町のキャッチフレーズである「美しい山・川・海人が躍動する 交流と共生のまち」にふさわしいデザインであるとして、香住区無南垣の神田清明さんの作品を最優秀賞として選びました。

(詳しくは7ページ)

【町章の説明】

香美町の「カ」「ミ」を図案化し、自然豊かな山々と町内を南北に流れる矢田川が日本海へ注ぎ込む風景をデザインしている。

下部の穏やかに曲がった3本の線で住民がいきいきと躍動し、交流、共生する姿をイメージしており、香美町の掲げる「美しい山・川・海人が躍動する 交流と共生のまち」を象徴的な姿で表現している。

7 | 香美町広報
平成17年7月号
(第4号)

山のまち 海のまち 山のまち 連携効果を発揮

基本方針

6月14日、第2回香美町議会が招集され、その冒頭で藤原久嗣町長は平成17年度の香美町政にのぞむ所信を表明しました。

その中で藤原町長は、山のまち、海のまちの特色を生かしたまちづくりの推進、地域間連携による相乗効果の発揮、全町バランスある発展の重要性など基本姿勢について述べるとともに、『多彩な資源を生かした観光対策の推進』など6つの主な政策の方向を具体的に示しました。



議会で所信表明を行う藤原町長

山のまち、(小代区・村岡区)、海のまち(香住区)として発展してきた地域ごとの特色を一層生かしたまちづくりを進めるとともに、各地域の連携による相乗効果のあがるまちづくりを推進します。山のまち、海のまちという特色の異なるまちの合併であり、連携効果を発揮しながら、地域間のバランスある発展を図るため、均衡ある振興策に十分配慮していきます。

新しいまちづくりを推進するには、新しい視点から中長期的に将来を見据えた発想が必要であり、各階層、特に若い世代の考え方を積極的にとり入れていきたいと考えます。

旧町意識にとらわれず、全町民の一体感の醸成を図る交流機会を多く設けるとともに、町政の運営にあたっては町民の目線に立ち、対話によるまちづくり、町民の皆さんと一緒に進める協働のまちづくりに心がけていきます。

多彩な資源を生かした観光対策の推進

まちづくりを進めるにあたっては、何よりも産業の振興による地域の活性化を図っていくことが必要です。

豊かな自然、スキー場や海水浴場、温泉、カニや但馬牛などを有する本町は、従来以上に観光対策の推進を図っていくことが必要と考えます。

山と海との観光資源を一層生かすために、体験観光や山と海とが連携した観光ルートの設定など、多様な観光ニーズに応える体制づくりをしていくとともに、マスコミへの積極的な情報提供、各種イベントの開催などPR活動も強化していきます。

山・海ごとの観光対策は、従来どおりそれぞれの観光協会との連携を強化し、新たに香美町全体で取り組む広域観光対策を効果的に推進していくために、観光協会間の緊密な連携を図っていきます。



香住区



村岡区



小代区

山と海との特色ある産業の振興

山のまち（小代区・村岡区）では、観光業・農業・畜産業、海のまち（香住区）では、観光業・漁業・水産加工業が中心となっておりますが、産業ごとの振興策は個別にその充実を図るとともに、それぞれの地域ごとに、観光業を核とした産業間の地域内連携をより一層図っていくことが必要



観光業を中心とした産業の振興は香美町発展には欠かせません



です。

すでに香住区で組織している各業界の代表者、実務者からなる「産業活性化協議会」を一層充実していくとともに、村岡区・小代区にも取り入れていきます。

●主要産業の振興方策

（観光業除く）

【農業】生産基盤の整備を進めるとともに、転作作物の栽培支援を行います。有機栽培など安全・安心な農産物の生産促進に努め、民宿の食材として契約栽培や朝市など地産地消体制の確立に努めます。

【畜産業】但馬牛の飼養頭数の増加に努めます。また、有機センター・堆肥センターの運営を支援するとともに、有機栽培農業を促進して畜産と耕種の一層の連携に努めます。

【漁業】漁船新建造に対する利子補給を引き続き行い、魚礁の設置を行います。さらに資源の付加価値を高めるため、活イカ・活ガニなどの鮮度保持を図るために必要な施設整備に対し、支援を行います。

【水産加工業】消費者ニーズや流通形態の変化に対応した製品開発、販売戦略の構築を進めるため、付加価値の高い加工品の開発など、新たな対応のための支援を行ってまいります。

活力ある福祉社会の創造

少子・高齢化が進行している中、とりわけその進行度の高いわが香美町では、これらを踏まえた積極的な対応をしなければなりません。

【少子化対策】旧町ごとに策定した次世代育成支援行動計画に沿った対策を講じるほか、公立病院の小児科医師の安定確保、保育料の低い額への調整、放課後児童クラブの開設など可能なことから順次取り組めます。

【高齢者対策】高齢者を前期高齢者（65歳～74歳）、後期高齢者（75歳以上）に分け、前期高齢者には健康対策や生きがい対策、後期高齢者にはナイトケアサービスの範囲拡大など介護サービスの充実を図り、介護者の負担軽減に努めます。

【医療体制の整備】「香美町医療体制検討委員会（仮称）」を早期に設置し、町民医療のあり方と各医療機関の役割などについて、専門家も交えて検討し、年内にその方向性を出したいと考えています。

ふるさとに愛着をもつ青少年の育成

私は、わが町の子どもたちが元気でたくましく育ち、また、大きくなってからも

ふるさとを愛し、ふるさとを自慢できるような人間として育ってほしいと願ってやみません。

子どもたちのふるさとに対する誇りと自信が、将来の夢を育ませ、さらにその夢の実現に向けて逞しく挑戦し続けようとする力の源となります。

旧町でもふるさとを愛する心を育むための施策が講じられてきましたが、これらを一体化し、学校・地域社会・家庭での役割分担を明確化し、それらの連携を図りながら積極的な対策を講じていきたいと考えています。

香り高く美しいまちづくり運動の展開

これからのまちづくりは、行政だけで進めようとしてもその効果が十分あがらないケースが多くなってきました。特に人づくりや環境対策などは、住民の皆さんと十分協議し、住民と行政の役割を分担して推進していくことが必要です。

旧香住町で行っていた「香りの住むまちづくり運動」（人づくり運動、花づくり運動、歴史・文化づくり運動）を継承していくとともに、新町名にちなんで「香り高く美しいまちづくり運動」と改称し、村岡

区・小代区の皆さんにも運動の展開を提唱していきます。

また、町内の主要河川沿いに桜の木を町民総参加で植栽する「矢田川桜つつみ街道事業」を今秋に実施して、町民の一体感の醸成や新しいまちづくりのシンボル事業としての位置づけもしたいと考えます。

幹線交通ネットワークの整備促進

過疎化の進展する兵庫県北部にあつては、道路交通網の整備は喫緊の課題であり、本町においても整備を急ぐ路線を多く抱えております。

その中で、国道482号線の「蘇武トンネル」、高規格道路の「香住道路」が開通して、豊岡方面への時間短縮が図られました。

地域高規格道路「余部道路」の早期完成、国道9号笠波峠の早期改修などを国や県に強く要望するとともに、新町の幹線道路と位置づけられる「大乗寺バイパス」「境バイパス」「大谷バイパス」の早期着工を県に強く働きかけます。町道整備は、財源の許す限り早期に取り組みよう努力します。

JR山陰本線余部鉄橋の架け替えについては、関係町民の意向が十分反映されるように努めます。

平成17年度一般会計、特別・企業会計予算

302億65337万円のまちづくり

合併後初となる香美町の本格的な平成17年度予算は一般会計、特別・企業会計あわせて302億65336万円で、前年度予算から7・8%増となりました。(前年度予算は旧3町と矢田川流域衛生一部事務組合の各会計の合計)

しかし、新年度予算には平成16年度に係る未収金、未払金が含まれているため、それらを差し引いた実質的な予算額は、全体で4・5%減となりました。

一般会計 163億6000万円

予算額は163億6000万円で、前年度の144億5499万6000円に比べて、13・2%増となりました。

しかし、旧3町の前年度予算に係る未収金、未払金を除いた純粋な新町の当初予算額は、142億161万6000円(前年度に比べて、1・7%減となりました)。

また、合併に伴う特殊要因などを除いた場合の予算額は129億6615万5000円となり、平成14年度～16年度の平均予算額に比べて7・3%減。必要性和緊急性に絞った緊縮型の予算となりました。

〔歳入〕 後年に備え地方債、繰入金を抑制

歳入の約39%を占める地方交付税は、前年度の決算額とほぼ同額の63億7500万円を見込みました。

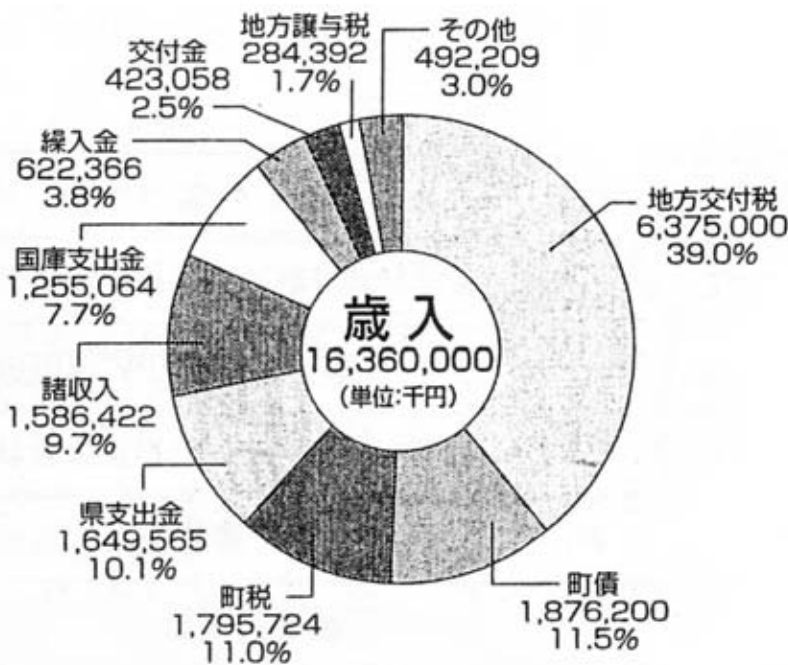
町税は前年度の未収金を含めて、17億9572万円(2・6%増)を見込みました。増額となっているのは、固定資産税の増収を見込んでいます。

一方で、地方債の発行は前年度

未収金を含め18億7620万円

(11・7%減)で、使途を緊急性の高い事業に絞り込んで発行額を抑えるとともに、後年度に交付税算入されるものを選択しました。

また、後年の財政運営に備え、前年約14億円を取り崩した基金からの繰入金金は、6億2237万円(56・3%減)と大幅に減額をしました。



一人の町民が

納める町税額

合計 78,750円

▼町民税(個人の所得や会社、団体などの収益に対してかかる税金)・・・27,104円

▼固定資産税(土地、家屋、償却資産に対してかかる税金)・・・44,448円

▼軽自動車税(軽自動車やオートバイに対してかかる税金)・・・2,224円

▼たばこ税(町内で販売されているたばこに対してかかる税金)・・・4,554円

▼入湯税(温泉や共同浴場に対してかかる税金)・・・426円

(平成17年4月1日)

人口22,801人で計算)

【歳出】緊急性、必要性の高い事業を優先的に

合併後も厳しい財政状況が見込まれるため、緊急性、必要性の高い事業に絞った予算編成をしました。

歳出の中で最も高い比率を占めるのが、借金の返済に当たる公債費で29億80053万円です。前年度比5・5%減ですが、前年度の借り換えを除く実質的な経費は増加しています。次に高いのは、総務費で27億3354万円(39・7%増)。重点課題事業である庁舎建設事業や健康増進施設的设计管理委託料などが計上されているため、大幅な増加となりました。

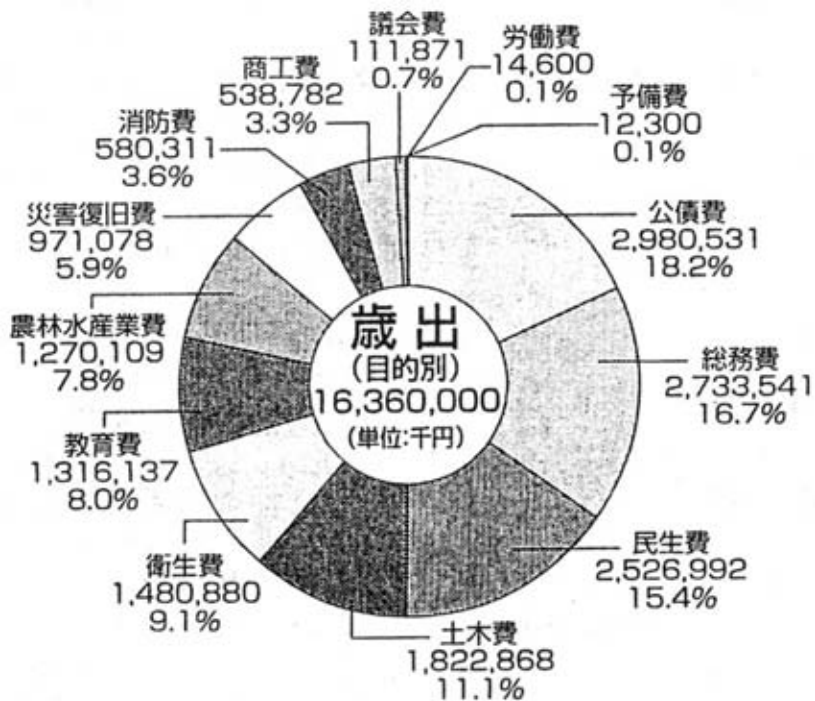
重点課題事業の特別養護老人ホーム建設事業を含む民生費が25億2699万円(48・0%増)と続きます。

また、昨年の台風による災害復旧費は9億7107万円を計上しました。

一方で、八鹿病院組合などへの繰り出し金などの減少で、衛生費は14億8088万円(22・2%減)と大幅な減額となっています。

性質別には、普通建設事業費が18・8%増の23億3808万円となっていますが、重点課題事業を除くと、34・9%の大幅減となりました。

人件費も合併による特別職の減少などにより約8・9%の減少となり、臨時職員の削減を含めると、約3億円の減少となりました。



平成17年度の主要な事業

■最重点課題事業

庁舎建設事業／特別養護老人ホーム建設事業／健康増進施設整備事業

■社会資本整備

中山間地域総合整備事業／農免道路整備事業／森林基幹林道(三川線)開設負担金事業／水土保全林整備事業／町道新設改良事業

■産業振興政策

農業生産組織などの育成・活動強化施策／経営構造改善事業／有害鳥獣防除施設推進対策事業／並型魚礁設置事業／観光振興のための施設などの整備／観光PR・イベント支援など観光施策／「香美町フェスタ(仮称)」の開催

■香り高く美しいまちづくり運動の展開

香住区「香りの住むまちづくり運動」(香りの花づくり推進事業、香りの人づくり推進事業、香りの歴史・文化づくり運動)／村岡区・小代区で同様のまちづくり運動の検討

■矢田川桜つつみ街道事業

新町住民の一体感の醸成と新町のシンボルとするため、桜の木約700本を植栽

■健康・福祉施策

老人保健福祉計画策定事業／介護予防・地域支え合い事業／子育て・子育て支援センター運営事業／放課後児童健全育成事業／医療体制検討委員会(仮称)の設置／若者交流事業

■ふるさとに愛着をもつ青少年の育成

「いきいき学校」応援事業／「いきいき香美町いきいき教室」事業／土曜いきいき教室推進事業／社会教育推進モデル地区事業／みかたPTCA推進事業

■行政サービス向上のための取り組み

地域イントラネット基盤施設整備事業／情報通信システム整備促進事業／電算システム統合事業

■そのほかの主要施策

地域協議会の設置／行財政改革検討委員会(仮称)の立ち上げ／若者まちづくり懇話会の設置

【一人の町民に 対する予算額】

合計 717,512円

▼議会費(町議会運営にかかる費用)・・・4,906円

▼総務費(町役場の運営管理などにかかる費用)・・・119,887円

▼民生費(老人福祉や児童福祉などの充実にかかる費用)・・・110,828円

▼衛生費(町民の健康管理やごみの回収、清掃などにかかる費用)・・・64,948円

▼農林水産業費(農林水産業の活性化にかかる費用)・・・55,704円

▼商工費(商工業、観光の活性化にかかる費用)・・・266,630円

▼土木費(道路や橋、町営住宅などの建設、維持管理にかかる費用)・・・79,947円

▼消防費(消防や災害対策にかかる費用)・・・25,451円

▼教育費(学校教育、社会教育、文化、スポーツの振興にかかる費用)・・・57,723円

▼災害復旧費(災害復旧にかかる費用)・・・42,589円

▼公債費(町が借り入れたお金の返済にかかる費用)・・・30,719円

▼その他・・・1,800円

(平成17年4月1日)

人口22,801人で計算

特別会計、企業会計 139億537万円

地方公共団体は、特定の事業を行うため、一般会計と経理を別にする必要がある場合に、特別会計を設けています。
合併により、香美町は12の特別会計と公立香住総合病院事業、上水道事業の2つの企業会計を持つことになりました。

特別会計、企業会計の総額は139億537万円で、前年度に比べ2.0%増となっていますが、旧町の未収金、未払金を除いた実質的な予算は7.4%減となっています。

特別会計、企業会計の名称	17年度予算(千円)	16年度予算(千円)	対前年比
国民健康保険事業	3,019,688	2,528,185	19.4%
(事業勘定)	2,350,615	2,017,444	16.5%
(直診勘定)	669,073	510,741	31.0%
佐津診療施設勘定	78,170	96,800	-19.2%
兔塚診療施設勘定	129,649	67,300	92.6%
川会・原診療施設勘定	119,127	65,200	82.7%
小代診療施設勘定	236,497	198,041	19.4%
兔塚・川会歯科診療施設勘定	105,630	83,400	26.7%
老人保健事業	2,821,553	2,821,072	0.0%
介護保険事業	1,774,561	1,507,641	17.7%
(事業勘定)	1,739,241	1,475,267	17.9%
(サービス事業勘定)	35,320	32,374	9.1%
簡易水道事業	421,885	510,674	-17.4%
下水道事業	3,293,655	3,276,090	0.5%
財産区	5,621	5,622	0.0%
香住海岸土地造成事業	11,694	13,044	-10.3%
町立地方卸売市場事業	8,650	11,864	-27.1%
国民宿舎事業	57,120	55,000	3.9%
矢田川憩いの村事業	38,667	38,500	0.4%
門真市村岡自然ふる里村運営事業	107,946	99,000	9.0%
宅地造成事業	26,541	19,900	33.4%
公立香住総合病院事業	1,798,345	2,139,063	-15.9%
収益的収支	1,625,369	1,976,041	-17.7%
資本的収支	172,976	163,022	6.1%
上水道事業	519,439	605,305	-14.2%
収益的収支	250,714	271,429	-7.6%
資本的収支	268,725	333,876	-19.5%
総額	13,905,365	13,630,960	2.0%

特別会計、企業会計の主な内容

国民健康保険事業 特別会計

国民健康保険事業特別会計は、事業勘定と直診勘定に分かれています。

事業勘定では、国民健康保険の対象者への医療給付をはじめとする事業を行います。

直診勘定は、町内にある町営の7つの診療所の管理運営に関する会計で、地域医療の一翼を担う事業を行っています。

老人保健事業特別会計

老人医療の負担軽減のため、老人保健事業会計から老人医療費の給付を行うほか、高齢者の予防医療や健康の増進活動など、老人の保健活動全般を担う会計です。

介護保険事業特別会計

介護保険事業特別会計は、納められた介護保険料をもとに、介護が必要かどうかの認定を行ったり、実際に介護が必要になった人への介護サービスを提供するための事業を行う会計です。

簡易水道事業特別会計

上水道事業企業会計が供給する地域以外の水道は、簡易水道となっています。

簡易水道事業特別会計では、簡易水道を利用している地域の施設整備や維持管理など、生活に欠かすことのできない水を、安全に、そして安定して供給するための会計です。

下水道事業特別会計

下水道事業特別会計では、下水道施設(浄化センター、下水道管)の整備工事や各浄化センターの維持管理などが主な事業となっています。

財産区特別会計

香美町内には香住区に口佐津、長井、余部の3財産区がありますが、口佐津、長井財産区は特別会計で事業を執行しています。

香住海岸土地造成事業 特別会計

香住区香住から七日市にかけての海岸沿いを埋め立て新たな土地を造成する香住海岸ルネッサンス事業に関する会計です。



「美しい山・川・海 人が躍動する
交流と共生のまち」にふさわしいデザイン

地元・神田さんの作品

最優秀賞の 神田清明さん



香美町の町章をデザインするにあたって、重要な要素・キーワードをどう融合させて大胆かつシンプルに表現しようか、3町の風景を思い浮かべながらラフスケッチを何枚も書きました。

この町章が香美町の言わば“家紋”として使っていただけるということ、また、新町誕生に際し香美町住民の一人としてお役に立てたこと、大変光栄に感じています。

全国各地から

1,277点の応募

香美町の町章のデザイン案は、合併前の2月15日から3月18日にかけて募集を行いました。

最終的な応募作品は、1,277点(994人)。応募者の最年長は90歳、最年少は7歳でした。また、公募情報を取り扱う雑誌に掲載したこともあり、北海道から沖縄まで全国各地から作品の応募がありました。香美町内からの応募は588点(475人)でした。(香住区295点、村岡区232点、小代区61点)

町章選定委員会で選考

4月23日には町内に在住、在勤の有識者9人で構成する香美町町章選定委員会(西内一博委

員長)を設置し、作品の絞り込みを行いました。

委員会は最終候補の3点から神田清明さん(香美町香住区無南垣)の作品を選出し町長に報告、町長は類似作品の有無などを確認のうえ、最終的に神田さんの作品を町章として決定しました。

お披露目は

香美町誕生記念式典で

今回決定した町章は、7月17日に開催される香美町誕生記念式典でお披露目し、神田さんに最優秀賞をお贈りします。また、最終候補に残った作品の作者である栗山照州さん(福岡県福岡市)、井口やすひささん(東京都文京区)には優秀賞をお贈りします。

町立地方卸売市場事業 特別会計

香住区境の香住漁港東港にある町立地方卸売市場の維持管理にかかる会計です。

国民宿舎事業特別会計

香住区境にある国民宿舎「ファミリーイン今子浦」に関する会計です。

管理運営は第3セクター、香住観光公社が行っています。

矢田川憩いの村事業 特別会計

平成12年にオープンした香住区三谷のかすみ・矢田温泉に関する会計です。

管理運営は第3セクター、矢田川開発株式会社が行っています。

門真市村岡自然ふる里村 運営事業特別会計

旧村岡町と姉妹都市だった大阪府門真市との交流拠点であり、宿泊施設でもある村岡区和池のロッジかどま。

門真市村岡自然ふる里村運営事業特別会計は、このロッジかどまの維持管理、運営に関する会計です。

宅地造成事業特別会計

村岡区の第2次(高井)分譲

宅地造成事業により、光陽区の南側に20区画の宅地を造成し、分譲を行っています。

旧町から引き続き、残り区画の分譲を進めています。

公立香住総合病院事業 企業会計

内科、外科・胃腸科、眼科、整形外科、産婦人科、眼科、小児科、耳鼻咽喉科、泌尿器科を備えた公立香住総合病院の事業経営に関する会計です。



公立香住総合病院

上水道事業企業会計

香住区の香住地区、柴山地区は、上水道により生活用水を供給しています。

前記の2地区に安全でおいしい水を供給するための、施設の維持管理、水道管の整備、修繕などを行う会計です。

香美町の最重点課題事業

健康増進施設整備事業

(グラウンドゴルフ場、健康増進センター建設事業)

合併後の各地域の均衡ある発展を目指して、香美町では最重点課題事業を挙げて推進を図っています。

5月号では各区の最重点課題事業の概要と香住区の最重点課題事業である庁舎建設事業（新町本庁舎建設事業）を、6月号では村岡区の高齢者福祉施設整備事業（特別養護老人ホーム建設事業）を紹介しました。

今月号では、小代区で事業が進められている健康増進施設整備事業

健康と交流の場を目指して

小代区の健康増進施設整備事業では、高齢者の生きがいづくりや健康づくりを支援するために、グラウンドゴルフ場や健康増進センターを建設して、高齢者が気軽に集える場所づくりを進めていきます。

現在の構想では温泉保養館おじろんの周辺を整備して事業を進める予定にしています。

また、子どもから老人まで楽しむことができ、都市の愛好者が大会を開くこともできるグラウンドゴルフ場を整備して、健康づくりだけでなく、世代や地域を超えた交流が行える場を作り出せるようにします。

本年度は

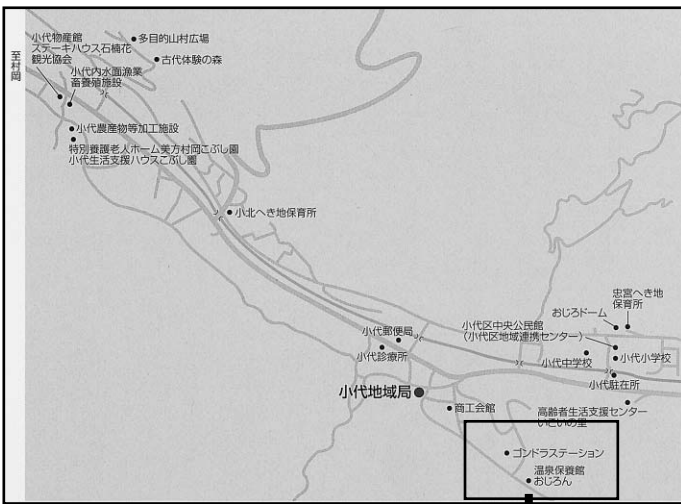
測量設計費を予算計上

すでに平成16年度から中山間地域総合整備事業で進めているグラウンドゴルフ場の北側に、新しくセパレートコースのグラウンドゴルフ場（8ホールを2コース）を整備します。

健康増進施設整備事業のうち、グラウンドゴルフ場の整備は、本年度から平成19年度の3カ年で整備を行う予定です。

本年度はグラウンドゴルフ場の整備に向けて、測量・設計費業務を実施するため、約1000万円を予算計上しました。

本年度中には測量設計業務を終え、19年度の完成を目指します。



健康増進施設整備事業が進められている小代区大谷の整備イメージ図

まちづくりにあなたのご意見を

地域協議会委員を募集

地域の住民の皆さんの多様な意見を行政に反映させるため、合併前の各旧町の区域ごとに設置した「地域自治区」に「地域協議会」を置きま

す。地域協議会の委員として、委員を公募しますので、進んで応募してい

●募集人数

地域協議会は、地域自治区ごとに15人以内の委員で構成します。その中で、公募による委員として地域自治区ごとに3人を募集します。募集人員を超えた場合は、抽選で決定します。

●応募資格

香美町の該当区域に住所を有する人（年齢は18歳以上）で、まちづくりに参加したいという意志のある人

●応募締切 7月20日(水)

所定の申込書に必要事項を記入して、役場総務部企画課か各地域局地域振興課まで提出してください。

●報酬

会議などに出席した際の委員報酬、

費用弁償は、町条例に基づいてお支払いします。

●活動期間

- ・任期は2年間
- ・会議は必要に応じて開催します。
- ・会議は原則として公開とします。
- ・委員の活動に必要な町政情報などは、

香美町役場と各地域局で閲覧できます。問い合わせ(申し込み)先

役場総務部企画課

0796・36・1111

村岡地域局地域振興課

0796・94・0321

小代地域局地域振興課

0796・97・3111



新しい人権擁護委員長 智子さん

7月1日付けで人権擁護委員に長智子さん(香住区一日市)が委嘱されました。

人権擁護委員は、国民の基本的人権が侵されることのないよう監視や救済を行い、自由人権思想の普及高揚に努めるもので、法務大臣が委嘱します。

7月11日、役場で委嘱状交付式が行われ、長さんへ委嘱状が手渡されました。

また、長年人権擁護委員として本町の人権擁護活動に尽力され、6月30日をもって退任された綿本幸一さん(香住区訓谷)に、法務大臣からの感謝状が贈られました。



前委員の綿本さん(右)へ感謝状を贈呈

余部鉄橋メモリアル 夏のイベント開催



余部鉄橋を走り抜ける列車

強風による運休を解消するため、コンクリート橋へ架け替えられるまでの間、「さようなら余部鉄橋、ありがとう余部鉄橋」を合言葉に、町では「余部鉄橋メモリアル事業」を展開していきますが、この夏は、8月6日(土)、午後5時ごろから、鉄橋の真下で、お子さんから大人の方までみんなが楽しめるイベントを開催します。

○×クイズ大会やミニコンサート、夜店も出ます。

夕涼みがてら、ご家族お揃いでぜひお越しください。

●問い合わせ先

余部鉄橋メモリアル事業実行委員会 (役場総務部企画課内)

0796・36・1111

こんにちは 町長です

香り高く美しいまち

香美町

早や7月、新生「香美町」が発足して3カ月がたちました。暫定予算でスタートしました町政も、6月30日の町議会にて、本年度1年間の本予算を議決いただき、いよいよ本格的な香美町づくりのスタートをきることにになりました。

これから、美しい山・川・海人が躍動する 交流と共生のまちを目標に、町民の皆さんとともに、総力をあげて新しいまちづくりに取り組んでいきたいと思えます。

その手始めとして、この秋に、町内を南北に流れる矢田川をはじめ主な川沿いに、多くの町民の皆さんに参加いただき、約700本の桜の木を植えていきたいと思っています。

山と海との豊かな自然に囲まれた香美町、その間を流れる川沿いに新たに桜並木を作り上げ、町名のとおり「香り高く美しいまち」香美町づくりのスタートをきろうではありませんか。

香美町長 藤原久嗣

大募集

ランナー、ボランティアスタッフ

第8回村岡ダブルフルウルトラランニング

村岡区内の美しい景観を活かした100キロメートル、88キロメートル、44キロメートルのマラソンコースを通じて、さまざまな地域の人々との交流促進、さらに村岡を広く全国にPRしようと、平成10年から開催している「村岡ダブルフルウルトラランニング」。

今年、9月25日(日)に開催します。

★市民の力を結集・手作りの大会に
大会実行委員会では町民みんなで大会を作り上げたいと思っています。

①選手受付、②エイドステーション、③ポイントごとの計時・計測、④ゴールの出迎えなど大会の運営に協力していただけのボランティアスタッフを募集しています。

一人ひとりの力が大会を作ります。

★自己の限界に挑んでみませんか？
村岡ダブルフルウルトラランニングに挑戦するランナーを募集しています。

参加費用は、100キロメートルコース=14,000円、88キロメートルコース=12,000円、44キロメートルコース=8,000円(記念品代、傷害保険代、競技中・歓迎祭の飲食代を含みます)。

申込期限は8月23日(火)です。

町民の皆さんから一人でも多くの出場をお待ちしています。

町民みんなで応援します。

ボランティア参加・出場申し込みは、村岡ダブルフルウルトラランニング大会事務局(0796・94・0298)まで。



声援を受けコースを走り抜けるランナー

人間ドックのお知らせ

公立香任総合病院(香任区)と村瀬医院(村岡区)で人間ドックを行います。

病気の早期発見、健康管理に役立ててください。

なお、今年度町ぐるみ健診などほかの健診を受診された方は今回は対象外とさせていただきます。

■検診項目

○基本健康診査:身体計測・血圧測定・血液検査・尿検査・心電図・診察

○胃部検診:胃力メラ・腹部エコー

○大腸検診:便潜血反応2日法

○胸部検診:胸部エックス線

○骨量測定

■検査料金 15,000円

■実施期間

○公立香任総合病院

…平成17年9月末まで

○村瀬医院

…平成18年3月末まで

■申し込み方法

受診を希望される医療機関へ、電話か直接申し込んでください。

○公立香任総合病院

0796・36・1166

○村瀬医院

0796・94・0003

■問い合わせ先

役場健康福祉部健康課

0796・36・1111

第1回香美町ジャンボひまわりコンクール

応募受付中!!

香美町では第1回目(旧村岡町)では13回目)となる

ジャンボひまわりコンクールを実施します。

昨年のジャンボひまわり大賞は、伊澤伊佐雄さん(村岡区村岡)の育てた5m35cm(写真)。

ファイブひまわり大賞は、同じく伊澤さんの24m75cm。多輪ひまわり大賞は、川本美代子さん(村岡区和田)の162輪でした。

【対象】 町民が育てた町内のジャンボひまわり

【部門】

・ジャンボひまわり大賞

・ファイブひまわり大賞

(一本の高さ)

(一本の花の数)

(5本の高さの合計)

・多輪ひまわり大賞

・特別賞(道端などでの目立つ活動など)

【応募期限】 7月29日(金)

【応募方法】

○電話 村岡地域局健康福祉課(0796・94・032)

1)にご連絡ください。

○郵便 官製はがきに①住所

②氏名③電話番号④応募部門

⑤栽培地を明記して、村岡地域局健康福祉課(〒667

11392 香美町村岡区村岡390-1)に郵送してください。

※計測は8月初旬の予定です。



ごみの減量化に対して助成金を交付

【家庭用生ごみ処理機 購入補助】

■対象者
町内に居住し、処理機を町内で使用される人で、町税などの滞納がない世帯

■対象機器

電気式で、生ごみを微生物で分解し堆肥化などを行う処理機が加熱・乾燥し生ごみを減量化する処理機

■補助金額

購入金額の2分の1以内

(上限30,000円)

■申請方法

購入前に見積書を添付して申請書を提出してください。

■そのほか

・旧町すでに補助を受けた

世帯は対象外です。

・1世帯につき補助は1台限りです。

・予定台数に達した時点で補助は終了します。

【資源ごみ集団回収運動 奨励金】

■対象団体

資源ごみの集団回収を自ら実施する団体(婦人会、老人会、PTA、子ども会など)

■対象品目

紙類(雑誌・ダンボール・新聞紙・紙パック)、布類、びん類、アルミニウム(アルミ缶)

■奨励金の額

1キログラムにつき(びん類

は1本につき) 3円

■申請方法

事前に団体登録申込書を提出してください。

・回収業者の引取り数量証明を添付して、半期ごとに(9月

までの実施分は10月末まで、10月から3月までの実施分は3月末まで)申請してください。

■問い合わせ先

役場健康福祉部町民課

0796-36-1111

村岡地域局健康福祉課

0796-36-0321

小代地域局健康福祉課

0796-97-3111

第23回ひょうご花と緑のコンクール 出展作品募集

町内の庭先や沿道で花壇やプランターを多く見かけられます。皆さんが育てられたご自慢の花をコンクールに応募してみませんか。

■応募対象

○コミュニティ緑化部門

自治会、老人会、婦人会、商工会など地域で育てている

花壇、道路沿いの花壇、ミニ公園の花や緑

○家庭緑化部門

家庭内の手作り花壇やプランター、窓辺の花など

○学園緑化部門

保育所、幼稚園や小中学校などで、情操教育の一環として育てられている花や緑

○職域緑化部門

事業所や駅、病院、市町庁舎などの職場で、地域との融和を図りながら育てられている花や緑

■応募方法

応募用紙に花のカラー写真を添え、9月30日までに役場健康福祉部町民課へ提出してください。

■問い合わせ先

役場健康福祉部町民課

0796-36-1111

村岡地域局健康福祉課

0796-36-0321

小代地域局健康福祉課

0796-97-3111

若者
都市と農村
交流促進事業



第10回 来て見て恋して村岡

～独身男性参加者大募集～

美しい自然の中で素敵な出会い



京阪神など都市部の独身女性と楽しく交流できる「来て見て恋して村岡」も今回で10回目。現在、このイベントに参加する独身男性を募集しています。

■とき 9月3日(土)～4日(日)(1泊2日)

■ところ 相大池公園

■募集対象

結婚を真剣に考えている、町内在住の独身男性(おおむね25才以上)

■募集定員

20人(応募者多数の場合は抽選)

■応募締切 7月29日(金)

■参加費用

7,000円(宿泊費・食事代含む)

■問い合わせ(申し込み)先

「来て見て恋して村岡」実行委員会
事務局(村岡地域局地域振興課内)
0796-94-0321
090-9621-5834(直通電話)

先月号でお知らせした「第3回青年交流会in香住」の参加者に若干の余裕があります。男性女性とも概ね25歳以上の方。ぜひご参加ください。

応募締め切りは8月5日(金)。

参加希望の方は、同実行委員会事務局(役場総務部企画課内)まで



昨年、家庭緑化部門で入賞された義本利道さん宅(香住区上岡)

Town News

まちの話題

働く喜びを実感

トライやる・ウィーク

町内6中学校の2年生245人が、地域の職場や施設など（118事業所）でさまざまな活動にチャレンジする「トライやる・ウィーク」を6月6日から10日にかけて実施しました。

「トライやる・ウィーク」では、生徒たちが普段学校ではできないことや体験してみたいことを納得するまで体験します。これは、兵庫県下すべての公立中学校の2年生を対象に実施していて、今年度で8回目。

期間中、生徒たちは自宅から直接職場や施設などへ通いました。それぞれの職場で自分自身の主体性を尊重したさまざまな活動や体験を通じ、生徒たち自

身が地域に学び、ともに生きる心・感謝する心を育みながら自律性を高めること、そして“生きる力”を身につけることがこの事業の目的です。

現実社会の厳しい面や仕事のやりがいなどを肌で感じながら充実した5日間を過ごしました。日程を無事に終えた生徒たちの表情は、自信に満ち溢れキラキラと輝いていました。

●お詫びと訂正

5月下旬に全戸配付したトライやる・ウィークの案内の中で、香住町漁業協同組合を香美町漁業協同組合と、和牛生産を酪農と誤記していました。お詫びして訂正します。



色々な人たちとの出会いが生徒たちを一回り大きくしました

広がる交流の輪

地曳網体験交流会



みんなで一生懸命網を引きました

6月19日、香住区下浜の三田浜海水浴場で、香住区のまちづくりグループ、ふるさと香住塾（吉川邦夫塾長）と小代区秋岡地区（本城繁信区長）の地曳網体験交流会が行われました。

ふるさと香住塾は、合併前から秋岡地区で植樹事業を行っていて、植樹の際、同地区との交流会を行っていましたが、「ぜひ香住の海の魅力も知ってもらいたい」と2年前から地曳網体験交流会を開催しています。

当日は香住塾の塾生と秋岡地区の区民約100人が参加。「よいしょ、よいしょ」とかけ声をかけながら網を砂浜に引き上げると、スズキやアジ、アオリイカなど、約50匹が入っていました。

あがったばかりの食材を早速調理、新鮮な刺身やバーベキューに舌鼓を打っていました。



網にかかった魚やイカは参加者全員でいただきました



号砲一発！一斉にスタートするランナー



激しい標高差に悪戦苦闘



沿道の声援がランナーを元気づけます

マラソンで交流と共生のまちづくりを 第13回みかた残酷マラソン全国大会

第13回みかた残酷マラソン全国大会が、6月12日に小代区で開催されました。

今年も県内はもとより、九州・四国・東京方面など遠方からの参加があり、879名のランナーが750名を越すボランティアスタッフと町民の声援に支えられ、厳しい日差しの中、標高差410メートルの過酷なレースに挑みました。

みかた残酷マラソンは、山に囲まれた小代区の地形を活かして平成5年に始められたマラソン大会です。

標高差の激しいアップダウンに加え、今年からコースのリニューアルにより、延々とうねりが続く区内周回コ

ースとなりました。

コースの残酷さが増した一方で、給水所の増設などによるスタッフの増員で、さらに町民とランナーの交流を図ることができ、レース後には、「コースはハードだけれど、地元の方々の応援がとても温かい、気持ちのこもった大会」とたくさんの方々の声をいただきました。

香美町では、香住区の潮風マラソン、村岡区のダブルフルウルトララニング、小代区では残酷マラソンとそれぞれの特徴を活かしたマラソンが行われています。

一年に一度ランナーとスタッフが集い、町民がスタッフとして参加することで、交流が生まれ、共生の気持ちで育まれます。来年も、きっとこの大会に参加しようと思える大会づくりに今後も努めます。

目指すは未来の舞台役者 兎塚中学校「演劇教室」



『火の鳥』の一場面（左端が大林さん）

6月26日、東京の劇団「民話芸術座」を招き、村岡区兎塚中学校体育館で演劇教室が開かれました。

これは、生徒たちへの演劇にふれてもらうこと、11月の文化祭で生徒たちが発表する劇の参考にすることを目的に行われたイベントで、今年で3回目となります。

当日は、生徒のほかに、地域の住民の皆さんなど約150人が観覧しました。上演に先立ち行われた「演劇教室」では、3年生の生徒5人が舞台上で劇団員から指導を受けながら発声方法などを練習。その後、生徒たちは演劇の予告編として朗読劇を行いました。

芝居「火の鳥」では、生徒を代表して3年生の大林令佳さんが特別出演し、主人公の娘・ヤヤを熱演。劇団員に負けないくらいの存在感で演じていた大林さんに、会場からは大きな拍手が贈られていました。大林さんは「緊張して何度も泣きそうになりました。普段着ることのできない衣装が着られたことや、劇団員の皆さんの温かく細やかな心遣いがとても思い出に残りました」と笑顔で話していました。

◆ 主な 連絡先 ◆	香美町役場本庁舎	36・1111	公立香住総合病院	36・1166
	// 南庁舎	39・2053	公立村岡病院	94・0111
	// 村岡地域局	94・0321	香住地域福祉センター	36・4345
	// 小代地域局	97・3111	香住老人福祉センター	36・5008
	香美町教育委員会	94・0101	村岡老人福祉センター	98・1000
	// 香住分室	36・3764	小代高齢者生活支援センター	97・2202
	// 小代分室	97・3966	(全ての施設の市外局番：0796)	

◆国民健康保険税の「介護分」の税率が変更◆

国民健康保険税には医療費の支払いに充てる「医療分」と介護納付金の支払いに充てる「介護分」(40～64歳までの国民健康保険加入者が納める)があります。

このたび、介護納付金の増加により「介護分」の税率が引き上がるとともに3区で不均一だった税率を均一にします。

改定後の税率は、次のとおりとなります。

【国民健康保険税「介護分」の税率】(適用年月日：平成17年4月1日)

- ・**所得割** (総所得金額－基礎控除額330,000円)×税率
(旧)香住区…0.88%、村岡区…1.09%、小代区…1.06%→(新)1.31%
 - ・**資産割** 土地・家屋に係る固定資産税額×税率
(旧)香住区…4.93%、村岡区…6.12%、小代区…7.27%→(新)6.15%
 - ・**均等割** 加入者一人に対し定額
(旧)香住区…6,790円、村岡区…6,560円、小代区…7,100円→(新)7,900円
 - ・**平等割** 一世帯に対し定額
(旧)香住区…4,030円、村岡区…4,060円、小代区…4,100円→(新)4,830円
- ※「医療分」の税率は据置きとなります。(平成17年度から3年間は各区ごとに税率が異なる不均一課税です)

◆福祉医療費助成制度改正◆

香美町福祉医療費助成条例の改正に伴い、7月1日からの診療分について、各制度の本人一部負担金の額が次のようになります。各制度に該当される方には、すでに受給者証をお送りしていますので、医療機関などを受診される場合には、必ず保険証・組合員証などと一緒に窓口提出して下さい。

- ・**老人医療費助成制度**
本人住民税課税者で一定以上所得者の家族 対象外
一般(負担割合2割) 外来12,000円、世帯40,200円
低所得者 区分2(負担割合2割) 外来8,000円、世帯24,600円
区分1(負担割合1割) 外来8,000円、世帯15,000円
- ・**乳幼児医療費助成制度**
一般 外来1日700円まで(月2回)、入院は一割負担(月2,800円まで)
低所得者 外来1日500円まで(月2回)、入院は一割負担(月2,000円まで)
※0歳児から5歳児までは償還払いで負担なし
- ・**障害者・母子・高齢障害者医療費助成制度**
一般 外来1日500円まで(月2回)、入院は一割負担(月2,000円まで)
低所得者 外来1日300円まで(月2回)、入院は一割負担(月1,200円まで)
- ・**寡婦医療費助成制度**(村岡区・小代区のみ) 7月から制度廃止
新たな制度として、精神障害者保健福祉手帳1級所持者が対象の重度精神障害者医療費助成事業が始まります。該当される方は申請をしてください。
乳幼児の医療費については、満5歳の誕生月の末日までの診療分が入院・外来ともに無料になります。印鑑・領収書・健康保険証・受給者証、振込口座が分かるものを持って、役場健康福祉部健康課・各地域局健康福祉課で申請をしてください。

求人情報

ハローワーク香住(職業安定所)
0796・36・0137

(平成17年6月20日現在・順不同)

事業所名	職 種	年齢	人数
西本設備	電気工事	不問	1
//	配管工	不問	1
N・S・K	電気工事管理者・技術者	不問	1
//	建設コンサルタント	不問	1
寺崎塗装店	建築塗装職人(見習可)	55以下	3
清水工業	水質管理	不問	2
//	水処理管理スタッフ	不問	1
秀和工建	1・2級土木施工管理技士	20～40	1
香住町観光公社	接客係	不問	1
山本モータース	自動車・保険営業	不問	1
香住自動車	営業(見習可)	不問	1
日本調剤	薬剤師	22～45	1
にしとも食品	製造	不問	1
蔵平水産	事務員	30～45	1
平和焼肉	飲食、サービス係	不問	1
社会福祉法人香寿会	看護職員	不問	1
//	介護職員	不問	2
三七十	接客係	不問	1
//	フロント事務	不問	1
マルヨ食品	営業	40以下	1
//	ルート営業	40以下	1
駒徳商店	水産加工・荷造り	50以下	1
ヤマヨシ	水産加工員	不問	1
エイワ電器	購買事務	35以下	1
美岡工業	機械オペレータ	55以下	1
//	組立オペレータ	55以下	1
村瀬医院	看護師	不問	1
入江産業	機械加工	不問	3
コメリ	販売員	18～28	10
//	//	20～28	10
ニッコトラスト	栄養士業務	不問	1
▼パート			
ライフアート	縫製	55以下	1
日本調剤	薬剤師	22～45	1
富士産業	調理補助	20～45	1
カネリョウ商店	製造加工員	不問	3
丸近	事務	不問	1
三七十	フロント事務	不問	1
ヤマヨシ	水産加工員	不問	1
さだ助	接客	45以下	2
かどや	接客	不問	1
ニレクコーポレーション	調理	不問	1
ニッコトラスト	経理事務	不問	1



1等・前後賞合わせて3億円
サマージャンボ宝くじ

- 発売期間 8月2日(火)まで
 - 抽選日 8月12日(金)
- (財)兵庫県市町村振興協会

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

収益金は兵庫県内の発売実績に応じて交付されますので、ぜひ県内でお買い求めください。



けいじばん

募 集

◆兵庫県警察官◆

応募締切 7月25日(月)
試験日 9月18日(日)
採用予定人数
男性…約180人、女性…約30人
問い合わせ(応募)先
香住警察署 0796・36・0110
浜坂警察署 0796・82・0110

開 催

◆香美町民福祉セミナー

(認知症相談推進事業) ◆

映画「折り梅」を通して、認知症(痴呆症)の方や家族の思いに心を寄せ、共に考えたいと思います。

講師 澤田清方氏(兵庫県社会福祉協議会職員、日本福祉大学教授、流通科学大学教授を歴任)

とき 7月31日(日)
午後1時30分～3時45分
ところ 村岡老人福祉センター
問い合わせ先
小代在宅介護支援センター
『こぶしの里』

0796・97・2799

◆短期水泳教室◆

とき 8月8日(月)～12日(金)
①午前9時30分～10時30分
②午前10時45分～11時45分
ところ 香住B&G海洋センター
対象者
町内の小学1年生～3年生で全く泳げない人

定員
各コース・各学年10人(定員になり次第締切)

申込開始日
7月23日(土) 午前9時～
申込方法

・電話受付は行いません。直接香住B&G海洋センターに申し込んでください。

・スポーツ保険料500円を申込時

にお支払いください。

問い合わせ先
香住B&G海洋センター
0796・36・2467

◆初心者狩猟免許講習会◆

これから県の狩猟免許試験を受けて狩猟を始めようとする方などを対象に講習会を開催します。

とき
8月6日(土) 午前9時30分～
ところ
兵庫県中央労働センター(神戸市)

内容
狩猟に関する法令、鳥獣類の判別、猟具の取り扱い

受講料 7,000円
申込期限 7月29日(金)
問い合わせ(申し込み)先
(社)兵庫県猟友会
078・361・8127

そのほか

◆農地売買・転用などの

申請について◆

農地を耕作目的で売買・貸し借りするには、農業委員会の許可が必要です。また、農地を住宅・車庫・工場・倉庫・駐車場・山林など農地以外に用途変更するには、県知事の許可が必要です。農業委員会では意見書を作成し、県知事へ申請書を提出します。

申請の手続きは複雑な部分もありますので、申請する前に農業委員が農業委員会事務局、本庁・地域局の担当者にご相談ください。

農業委員会事務局へ農地の売買・転用などについての申請書を提出する際には、毎月5日までに提出してください。

問い合わせ先
香美町農業委員会事務局
(村岡地域局農林課内)
0796・94・0321

◆高齢者の交通事故が増えています◆

今年5月末現在、県内の交通事故件数は昨年より減少していますが、高齢者の交通事故件数は増加しています。

香美町内でも、この半年間に3名の高齢者が亡くなっています。

次のポイントを再確認し、交通事故に遭わないように気をつけましょう！

1. 道路を横断するときは、油断しないで、よく確認しましょう！

①少し遠回りでも、信号機や横断歩道があるところから渡りましょう。近くに信号や横断歩道が無いときは、道路をよく見渡せるところから渡りましょう。

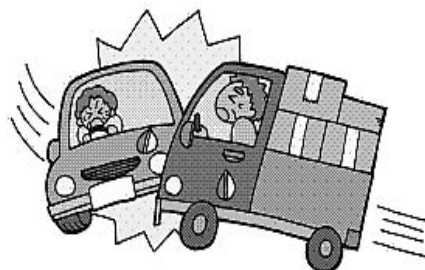
②渡る前に安全を確かめましょう。安全確認は右・左・右の順で。青信号でも車の動きを確かめながら横断しましょう。

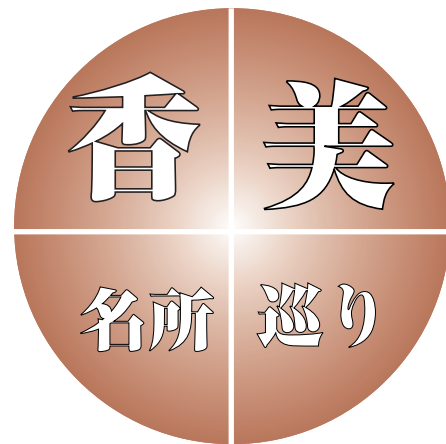
③横断中も油断しないで、車が来ないか確かめましょう。

2. 夕方や夜間、明け方に出かけるときは明るい服で出かけましょう！

①車の運転者から発見されやすい明るい色の服装を身につけるようにしましょう。夜光反射材を着用すると効果的です。

②夜間、車は右方向からの横断者に(歩行者から見ると左方向からの車は)気がつきにくいので、特に注意しましょう。





いまごろら 今子浦ファミリーパーク



マリングレーの海と千畳敷が
おりなす風景が美しい今子浦海岸



日本海に沈む
美しい夕陽



山陰海岸国立公園の中央に位置する香住区の海岸線の中でも、景勝地として知られる今子浦ファミリーパーク。

春から秋にかけて、遠足や自然学校、海水浴、キャンプなどで訪れた人々が、「かえる島」や「千畳敷」で、思い思いにのどかで雄大な風景、磯辺の観察などを楽しんでいます。

今子浦は国立公園内の集団施設地区に指定され、これまで県や町によりキャンプ場や駐車場、「大引の鼻」展望休憩所、園内周回道路、「香りの公園」、国民宿舎「ファミリーイン今子浦」、グラウンド、テニスコートなどが次々と整備されてきました。

最近では、町民ボランティアによる植栽事業も盛んで、園内各地にはスイセンやサクラ、シバザクラ、ユウスゲ、マツバギク、ムクゲなどの花木が四季折々に咲き、訪れる人々の心を和ませてくれています。

また、特に感動的なのが9月中旬ごろまで見ごろの「夕陽」の美しさ。天気の良い日の夕方、「ゆうなぎの丘」、「大引の鼻」展望休憩所などからの眺めは、まさに絶景です。

今年7月、国民宿舎は「日本夕陽の宿百選」の認定を受けました。また、町では「日本の夕陽百選」に現在申請中ですので、新たな観光資源として売り出していくことにしています。

編集後記「日々雑感」

「弁当忘れても傘忘れるな」

但馬地方でよく言われる言葉ですが、6月はほとんど雨が降らなかったので、「大丈夫かなあ」と思っていたら、7月に入り、雨、雨、雨…。

やっぱり天気というのは、年によって変動があっても、降るときには降るものだなと思いました。

人とは現金なもので、6月などは「早く雨降ってほしいなあ」と思っていたのに、7月になると「もう雨はいいよ」と思うようになりました。

給水制限や節水対策のニュースをテレビで見ると、香美町はよそに比べて、質、量ともに水に恵まれたところで良かったなと思えます。

水と安全はタダと言われていますが、最近ではそのどちらも、かつてのように当たり前のことごとく思うように考えることが難しくなってきました。

ちなみに、私はよく「弁当を忘れずに傘を忘れる」ので、すぶぬれになって帰ったことが何度もあります。

(タク)

